

令和元年度

事業年報

千葉県長生健康福祉センター

(千葉県長生保健所)

は じ め に

令和元年度（平成31年度）の事業年報をお届けします。

この年は、「災害の少ない」という枕詞が付きがちだった千葉県を、次々に台風やそれに続く豪雨が襲いました。長生地域も豪雨により、多くの家屋が浸水し、死者も出ました。

当センターのある合同庁舎も浸水し、公用車の多くが使用不能になりました。台風による停電では、複数の病院から、冷房が使用できず患者が熱中症の危険、という訴えが相次ぎました。この災害がようやく落ち着いた冬、中国から新たな感染症の情報がもたらされました。当初は食品市場での限局した感染で、ヒト－ヒト感染は無い、といわれていましたが、武漢の街に瞬く間に広がり、主に肺炎による死者が相次ぐ事態となりました。この新型コロナウイルス感染症、その後は、ご存じのとおり、世界中に拡大し、感染者は2020年9月現在、3010万人を超え、アメリカ合衆国・インド・ブラジルなどが特に多数ですが、死者は世界で94.4万人にもなっています。

このウイルスは、オリンピックを始め、多くの集客イベントを中止や延期に追い込み、人同士の距離感を否応なく変化させました。感染症が怖いのは、病原体への恐れゆえに、多くの人々が患者や感染者を忌避し、いわれなき偏見を生み出すことです。

今、保健所では、感染者を早期に発見し、周囲の接触者を調査することで、感染の広がりをできる限り抑え込む、という、結核以来培ってきた手法でこの病原体と対峙していますが、ソーシャル・メディアの発達などで、真偽入り混じった情報の拡散の速さや危険度に時折、驚嘆させられることもあります。

しかし、こういう事態に負けずに、明らかになっていく病原体の性質を見極め、地域の実情に合わせた効果的な対応策を取っていくこととしています。

こういう情勢の中、年度途中まで、平常時の様々な事業が縮小に追い込まれてきましたが、ウィズ・コロナでの新しい生活様式をベースに、徐々に再開を図っています。

これからインフルエンザの流行期が来ますが、症状では判別できにくい両疾患への対処が必須となります。各関係機関との連携を一層強化し、事態を乗り切りたいと思います。

令和2年9月

長生健康福祉センター長 大野 由記子

目 次

<p>I 総括・・・・・・・・・・・・・・・・ 1</p> <p>1 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・ 1</p> <p>2 概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 3</p> <p>3 管内の状況・・・・・・・・・・・・ 3</p> <p>4 健康相談・・・・・・・・・・・・ 9</p> <p>5 各種委員会・・・・・・・・・・・・ 10</p> <p>6 機構及び事務内容・・・・・・・・ 13</p> <p>7 職員数及び配置状況・・・・・・ 14</p> <p>II 総務企画課（総務課・企画課） の業務概要・・・・・・・・・・・・ 15</p> <p>1 歳入・歳出決算・・・・・・・・・・ 15</p> <p>2 医務関係・・・・・・・・・・・・ 17</p> <p>3 薬務関係・・・・・・・・・・・・ 20</p> <p>4 献血推進事業・・・・・・・・・・・・ 25</p> <p>5 地域保健医療計画の推進・・・・ 25</p> <p>6 厚生統計調査・・・・・・・・・・・・ 26</p> <p>7 協議会・委員会の開催状況・・ 32</p> <p>8 保健所保健・福祉サービス 調整推進事業・・・・・・・・・・・・ 32</p> <p>9 地域保健従事者研修・保健所 実習・・・・・・・・・・・・・・ 33</p> <p>10 広報・啓発事業・・・・・・・・・・ 34</p> <p>11 地域防災対策・・・・・・・・・・・・ 34</p> <p>III 地域保健福祉課の業務概要・・ 36</p> <p>1 保健師関係指導事業・・・・・・・・ 39</p> <p>2 母子保健事業・・・・・・・・・・・・ 43</p> <p>3 成人・老人保健事業・・・・・・・・ 50</p> <p>4 一人ひとりに応じた健康支援 事業・・・・・・・・・・・・・・ 51</p> <p>5 総合的な自殺対策推進事業・・ 51</p> <p>6 地域・職域連携推進事業・・・・ 52</p> <p>7 栄養改善事業・・・・・・・・・・・・ 54</p> <p>8 歯科保健事業・・・・・・・・・・・・ 63</p> <p>9 精神保健福祉事業・・・・・・・・・・ 64</p> <p>10 肝炎治療特別促進事業・・・・ 72</p> <p>11 肝がん・重度肝硬変治療 研究促進事業・・・・・・・・・・・・ 72</p> <p>12 難病対策事業・・・・・・・・・・・・ 72</p> <p>13 受動喫煙対策・・・・・・・・・・・・ 77</p> <p>14 市町村支援・・・・・・・・・・・・ 78</p>	<p>15 福祉関係事業・・・・・・・・・・・・ 81</p> <p>V 生活保護課の業務概要・・・・・・ 93</p> <p>1 生活保護・・・・・・・・・・・・ 93</p> <p>2 中国残留邦人等に対する支援 給付・・・・・・・・・・・・・・ 96</p> <p>3 生活困窮者住居確保給付金・・ 97</p> <p>VI 健康生活支援課の業務概要・・・・ 98</p> <p>1 結核予防事業・・・・・・・・・・・・ 100</p> <p>2 感染症予防事業・・・・・・・・・・ 109</p> <p>3 エイズ対策事業・・・・・・・・・・ 117</p> <p>4 難病相談事業・・・・・・・・・・・・ 120</p> <p>5 原爆被爆者対策事業・・・・・・ 123</p> <p>6 食品衛生事業・・・・・・・・・・・・ 125</p> <p>7 狂犬病予防事業及び動物愛護 管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 133</p> <p>8 環境衛生事業・・・・・・・・・・・・ 138</p> <p>VII 検査課の業務概要・・・・・・・・・・ 147</p> <p>1 臨床及び細菌検査業務・・・・ 148</p> <p>2 食品衛生検査業務・・・・・・・・ 149</p> <p>3 健康危機管理検査業務・・・・ 150</p> <p>4 精度管理事業・・・・・・・・・・・・ 153</p> <p>VIII 食品機動監視課の業務概要・・ 154</p> <p>1 食品衛生監視事業・・・・・・・・ 155</p> <p>XI 資料編・・・・・・・・・・・・・・ 167</p> <p>1 保健・介護サービス施設・・ 167</p> <p>2 学会・研究会における発表・・ 169</p> <p>3 表彰関係一覧表・・・・・・・・・・ 169</p>
--	---

凡 例

- 1 各表、図は、年とあるものは1月～12月の暦年、年度とあるものは、4月～翌年3月の会計年度である。
- 2 各表中、年号表示のない資料は、令和元年度分（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
- 3 各表欄外の注を参照のこと。
- 4 各表の数字は、単位未満を四捨五入してある。したがって、合計表と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の符号は、特にことわりのないほかは、次のとおりである。
 - 「0」掲載単位に満たないもの
 - 「－」該当なし
 - 「…」事実不詳又は資料なし
 - 「△」減少を示す